



2020年3月期 第1四半期決算短信(日本基準)(連結)

2019年8月5日

上場会社名 太陽化学株式会社 上場取引所 名
 コード番号 2902 URL <http://www.taiyokagaku.com/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 山崎 長宏
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役財務担当兼業務支援部長兼 企業統括部長 (氏名) 増川 尚利 TEL 059-340-0802
 四半期報告書提出予定日 2019年8月6日
 配当支払開始予定日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2020年3月期第1四半期の連結業績(2019年4月1日～2019年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第1四半期	10,157	0.5	1,232	1.0	1,233	0.3	869	4.0
2019年3月期第1四半期	10,205	5.2	1,244	24.2	1,229	18.8	836	22.6

(注)包括利益 2020年3月期第1四半期 566百万円 (41.0%) 2019年3月期第1四半期 960百万円 (5.3%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第1四半期	47.76	
2019年3月期第1四半期	45.59	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年3月期第1四半期	48,343	38,244	77.3
2019年3月期	48,813	38,297	76.7

(参考)自己資本 2020年3月期第1四半期 37,377百万円 2019年3月期 37,422百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期		10.00		34.00	44.00
2020年3月期					
2020年3月期(予想)		10.00		40.00	50.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2020年3月期の連結業績予想(2019年4月1日～2020年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	21,000	2.8	2,300	1.3	2,300	1.2	1,500	0.9	82.39
通期	42,000	4.7	4,300	2.6	4,400	6.6	3,000	14.0	164.77

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注) 詳細は、添付資料P. 8 「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有

以外の会計方針の変更 : 無

会計上の見積りの変更 : 無

修正再表示 : 無

(注) 詳細は、添付資料P. 8 「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(会計方針の変更)」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)

2020年3月期1Q	23,513,701 株	2019年3月期	23,513,701 株
------------	--------------	----------	--------------

期末自己株式数

2020年3月期1Q	5,306,601 株	2019年3月期	5,306,557 株
------------	-------------	----------	-------------

期中平均株式数(四半期累計)

2020年3月期1Q	18,207,114 株	2019年3月期1Q	18,345,046 株
------------	--------------	------------	--------------

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上記の予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報及び将来の業績に影響を与える不確実な要因に係る本資料発表日現在における仮定を前提としており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績は、今後様々な要因によって大きく異なる結果となる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8
(会計方針の変更)	8
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、企業収益、雇用・所得環境の改善により、緩やかな回復基調で推移しました。一方海外は、米中貿易摩擦の激化及び中東情勢の不安定化等による世界経済の下振れ懸念のなか、日本経済の先行きは依然として不透明な状況が続いております。

当事業の主要分野であります食品業界におきましては、今秋に消費増税が控えるなか、根強い節約志向により、企業を取り巻く事業環境は厳しい状況が続いております。

このような環境の中で当社グループ（当社、連結子会社及び持分法適用会社）は、引き続き対処すべき課題として

- ①市場変化への対応
- ②販売の強化（グローバル化）
- ③品質管理体制の維持・強化
- ④環境への取り組み
- ⑤人材育成
- ⑥業務改善による全体最適化

を掲げ、企業価値の向上に取り組んでおります。

この結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は、101億57百万円（前年同四半期比0.5%減）となりました。

営業利益は、12億32百万円（前年同四半期比1.0%減）となりました。経常利益は、12億33百万円（前年同四半期比0.3%増）となりました。親会社株主に帰属する四半期純利益は、8億69百万円（前年同四半期比4.0%増）となりました。

当第1四半期連結累計期間におけるセグメントの状況は次のとおりであります。

■ ニュートリション事業

医療、健康食品及び飲料業界等にカテキン（緑茶抽出物）、テアニン（機能性アミノ酸）、水溶性食物繊維等の機能性食品素材、ミネラル製剤、ビタミン製剤等を製造、販売しております。

水溶性食物繊維は、国内市場の飲料用途は減少しましたが、欧米市場の医療用途、サプリメント用途が増加しました結果、売上高は前年を上回りました。

カテキンは、アジア市場のサプリメント用途、加工食品用途は増加しましたが、国内市場の飲料用途及びサプリメント用途、欧米市場のサプリメント用途が減少しました結果、売上高は前年を下回りました。

ミネラル製剤は、国内市場の飲料用途、サプリメント用途が増加しました結果、売上高は前年を上回りました。

テアニンは、国内市場及び米国市場のサプリメント用途が増加しました結果、売上高は前年を上回りました。

ビタミン製剤は、国内市場の飲料用途が減少しました結果、売上高は前年を下回りました。

この結果、売上高は、22億91百万円（前年同四半期比21.4%増）、営業利益は、4億75百万円（前年同四半期比1.6%増）となりました。

■ インターフェイスソリューション事業

乳製品、飲料、菓子、パン、加工油脂等の業界、及び化粧品、トイレタリー業界等に、乳化剤等の品質改良剤を製造、販売しております。

化粧品、トイレタリー用途は国内市場は好調に推移しましたが、海外市場が減少しました結果、売上高は前年を下回りました。

飲料用途は国内市場が減少しました結果、売上高は前年を下回りました。

一般食品用途は国内市場が好調に推移しました結果、売上高は前年を上回りました。

この結果、売上高は、24億60百万円（前年同四半期比2.7%減）、営業利益は、4億96百万円（前年同四半期比1.7%減）となりました。

■ アグリフード事業

乳製品、飲料、菓子、パン、ハム・ソーセージ、即席めん、農産加工業界等に、鶏卵加工品、たん白素材、即席食品用素材、フルーツ加工品、農産加工品等の食品素材、品質改良剤、安定剤等を製造、販売しております。

鶏卵加工品は、国内市場のめん用途等の粉末卵が減少しました結果、売上高は前年を下回りました。

即席食品用素材は、国内市場の即席めん用途が減少しました結果、売上高は前年を下回りました。

フルーツ加工品は、国内市場の冷菓用途が減少しました結果、売上高は前年を下回りました。

安定剤は、国内市場の医療用途は増加しましたが、デザート用途が減少しました結果、売上高は前年を下回りました。

この結果、売上高は、53億75百万円（前年同四半期比6.6%減）、営業利益は、2億54百万円（前年同四半期比3.4%減）となりました。

■ その他

料理飲食等の事業を行なっております。

売上高は、30百万円（前年同四半期比3.8%減）、営業利益は、5百万円（前年同四半期比23.9%減）となりました。

（2）財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末の財政状態は、総資産が前連結会計年度末に比較して4億69百万円減少して、483億43百万円となりました。主な資産の変動は、受取手形及び売掛金の増加6億57百万円、商品及び製品の増加3億72百万円、有形固定資産のその他の増加2億91百万円、現金及び預金の減少12億8百万円、原材料及び貯蔵品の減少1億64百万円、流動資産のその他の減少1億9百万円、投資有価証券の減少2億32百万円です。

負債は、前連結会計年度末に比較して4億16百万円減少して100億99百万円となりました。主な負債の変動は、未払法人税等の減少2億34百万円、流動負債のその他の減少1億29百万円です。

純資産は、前連結会計年度末に比較して53百万円減少して382億44百万円となりました。これは主に、親会社株主に帰属する四半期純利益8億69百万円の計上、その他有価証券評価差額金の減少1億60百万円、為替換算調整勘定の減少1億32百万円、配当金の支払による減少6億19百万円によるものです。

この結果、自己資本比率は前連結会計年度末の76.7%から77.3%となりました。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2019年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	7,562,891	6,354,390
受取手形及び売掛金	11,255,877	11,913,094
商品及び製品	3,374,156	3,746,328
仕掛品	391,360	381,579
原材料及び貯蔵品	2,558,150	2,393,571
その他	594,243	485,040
貸倒引当金	△12,016	△16,999
流動資産合計	25,724,663	25,257,004
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	5,134,944	5,157,383
土地	8,278,997	8,239,251
その他（純額）	2,394,865	2,686,260
有形固定資産合計	15,808,807	16,082,895
無形固定資産	318,081	267,792
投資その他の資産		
投資有価証券	4,738,990	4,506,082
その他	2,235,487	2,242,956
貸倒引当金	△12,950	△12,950
投資その他の資産合計	6,961,528	6,736,088
固定資産合計	23,088,417	23,086,776
資産合計	48,813,081	48,343,781

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2019年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	6,458,416	6,476,764
未払法人税等	575,978	341,667
賞与引当金	232,089	177,374
その他	2,078,203	1,948,476
流動負債合計	9,344,687	8,944,282
固定負債		
退職給付に係る負債	192,951	191,667
役員退職慰労引当金	426,514	426,514
その他	551,500	537,117
固定負債合計	1,170,966	1,155,299
負債合計	10,515,653	10,099,581
純資産の部		
株主資本		
資本金	7,730,621	7,730,621
資本剰余金	7,340,648	7,340,648
利益剰余金	25,556,059	25,806,309
自己株式	△4,826,964	△4,827,035
株主資本合計	35,800,364	36,050,544
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,737,748	1,577,186
繰延ヘッジ損益	△6,455	△10,685
為替換算調整勘定	△74,126	△206,765
退職給付に係る調整累計額	△35,526	△32,362
その他の包括利益累計額合計	1,621,640	1,327,372
非支配株主持分	875,423	866,282
純資産合計	38,297,428	38,244,199
負債純資産合計	48,813,081	48,343,781

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第1四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)
売上高	10,205,189	10,157,626
売上原価	7,389,714	7,278,488
売上総利益	2,815,475	2,879,138
販売費及び一般管理費	1,571,249	1,646,740
営業利益	1,244,226	1,232,398
営業外収益		
受取利息	12,153	7,590
受取配当金	21,013	24,883
持分法による投資利益	—	7,440
その他	11,256	11,431
営業外収益合計	44,422	51,345
営業外費用		
支払利息	1,185	1,389
貸与資産減価償却費	1,891	1,646
為替差損	20,836	38,870
持分法による投資損失	30,703	—
その他	4,168	8,276
営業外費用合計	58,786	50,183
経常利益	1,229,862	1,233,559
特別利益		
固定資産売却益	—	28,504
投資有価証券売却益	50,920	—
特別利益合計	50,920	28,504
特別損失		
固定資産除売却損	8,100	41,574
特別損失合計	8,100	41,574
税金等調整前四半期純利益	1,272,682	1,220,489
法人税等	374,976	330,278
四半期純利益	897,706	890,211
非支配株主に帰属する四半期純利益	61,416	20,600
親会社株主に帰属する四半期純利益	836,289	869,610

(四半期連結包括利益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)
四半期純利益	897,706	890,211
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	116,749	△152,970
為替換算調整勘定	△60,175	△156,354
退職給付に係る調整額	3,061	3,163
持分法適用会社に対する持分相当額	2,686	△17,997
その他の包括利益合計	62,322	△324,158
四半期包括利益	960,028	566,053
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	919,018	575,342
非支配株主に係る四半期包括利益	41,010	△9,289

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

なお、法人税等調整額は、「法人税等」に含めて表示しております。

(会計方針の変更)

(IFRS第16号「リース」及び米国会計基準ASU第2016-02「リース」の適用)

在外連結子会社において、IFRS第16号「リース」及び米国会計基準ASU第2016-02「リース」を当第1四半期連結会計期間より適用し、原則としてすべての借手としてのリースを連結貸借対照表に資産及び負債として計上する方法に変更しております。この変更による当第1四半期連結会計期間及び当第1四半期連結累計期間の四半期連結財務諸表に与える影響は軽微であります。

(セグメント情報等)

I 前第1四半期連結累計期間(自 2018年4月1日 至 2018年6月30日)
報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	ニュー トリション 事業	インター フェイス ソリューション 事業	アグリ フード 事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	1,887,963	2,529,513	5,756,445	10,173,922	31,266	10,205,189
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	1,887,963	2,529,513	5,756,445	10,173,922	31,266	10,205,189
セグメント利益	468,494	504,570	264,019	1,237,083	7,142	1,244,226

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、料理飲食等の事業であります。
2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

II 当第1四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)
報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	ニュー トリション 事業	インター フェイス ソリューション 事業	アグリ フード 事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	2,291,675	2,460,716	5,375,170	10,127,562	30,063	10,157,626
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	2,291,675	2,460,716	5,375,170	10,127,562	30,063	10,157,626
セグメント利益	475,883	496,090	254,992	1,226,966	5,432	1,232,398

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、料理飲食等の事業であります。
2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。